

令和4年度 鶉小学校学校評価アンケート結果について

■よく当てはまる ■やや当てはまる ■あまり当てはまらない ■当てはまらない

①保護者アンケート

4点満点

Q	内容	R4	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
1	学校は、子どものよさや頑張りを認め、自己肯定感を育む教育をしている。	3.1	102	239	39								
2	学校は、分かる・楽しい授業に努め、子どもに学力を付けている。	3	82	241	54	7							
3	学校は、保護者や子どもの悩みや困りに寄り添い、真摯に対応している。	3.1	106	214	55	9							
4	学校は、いじめ防止基本方針(ホームページ参照)に沿ったいじめの防止や対応に組み、温かい心の育成とよりよい関係づくりに取り組んでいる。	3.2	126	218	35	5							
5	学校は、家庭や地域と連携し、緊急時の情報発信や、非常時を想定した訓練、環境衛生など、児童の安心・安全に努めている。	3.3	147	210	23								
6	学校は、タブレットなどICTを使った新しい教育活動に努めている。	3.3	155	203	24								
7	学校は、英語に親しみ、外国の文化に関心をもてるよう工夫している。	2.9	63	233	82	5							
8	子どもは、自他(家族・仲間・地域の人)の命の尊さを理解した行動をしている。	3.3	131	223	28								
9	子どもは、苦手なことに挑戦し、努力することのよさを感じている。	2.7	50	192	129	13							
10	子どもは、話す人を見て、最後まで話を聞くことができる。	3	76	228	69	11							
11	子どもは、自分の考えに理由をつけて話すことができる。	3	90	213	74	7							
12	子どもは、家庭学習に進んで取り組んでいる。	2.8	96	152	109	27							
13	子どもは、教科書や本(または新聞)を進んで読んでいる。	2.4	66	103	144	71							
14	子どもは進んであいさつをしている。また、「ありがとう、ごめんなさい」をきちんと言える。	3	99	195	78	11							
15	子どもは、家庭で身の回りの整頓や手伝い、掃除などを自分から行っている。	2.6	53	154	140	37							
16	子どもは、家庭や地域で温かい言葉で話したり、譲ったり、助け合ったりしている。	3	78	238	58	10							
17	子どもは、ゲームや携帯、テレビやタブレットの約束、交通ルールなど決まりを守って生活している。	2.8	61	209	81	33							
18	家庭では、子どもの話をよく聞いたり、よさや成長を見つけてほめてあげている。	3.1	77	270	35								

②子どもアンケート

4点満点

Q	内容	R4	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
1	先生は、自分のよいところや頑張っているところを認めてくれる。	3.4	361	289	64	16							
2	授業がよく分かる。授業が楽しい。	3.4	359	266	74	31							
3	先生はなやみや相談ごとに対し、親身に応じてくれる。	3.5	442	220	49	19							
4	人のいやがることをしていない。また、悲しい思いをしている子をそのままにしていない。	3.5	435	225	51	19							
5	日頃から事故や災害、けが等から身を守るようよりよく考え、判断して行動している。	3.5	428	227	54	21							
6	タブレットを使って勉強することができる。	3.6	513	178	29								
7	英語を使って簡単なコミュニケーションをしたり、外国の文化を学んだりして楽しい。	3.2	353	229	103	45							
8	自分の命も周り(家族・仲間・地域)の命を大切に行動をしている。	3.6	502	195	28								
9	苦手なことにもあきらめずに取り組むことができる。	3.3	343	277	85	25							
10	話す人を見て、自分の考えと比べながら、最後まで聞くことができる。	3.3	331	311	66	22							
11	自分の考えをわけをつけて話すことができる。	3.1	275	288	134	33							
12	家庭学習に取り組む時間を決めて、自分から進んで行っている。	3.1	289	264	124	53							
13	教科書や本(または新聞)を進んで読んでいる。	3	321	183	158	68							
14	あいさつや返事、「ありがとう」「ごめんなさい」を自分から言える。	3.6	479	209	31								
15	学校や家庭で身の回りの整理整頓や仕事、手伝い、掃除などを進んで行っている。	3.2	301	296	101	32							
16	学校や家庭、地域で温かい言葉で話したり、ゆずったり、助け合ったりしている。	3.3	348	284	78	20							
17	ゲームや携帯、テレビ、タブレットなどの約束や交通ルールを守って生活している。	3.5	439	216	53	22							
18	家の人は、話をよく聞いてくれる。また、自分のよいところやがんばったことをほめてくれる。	3.6	538	141	34								

<保護者評価>

いじめの防止や命を大切にしている行動の醸成、家庭や地域と連携した児童の安心安全について好評をいただきました。学習面では、タブレットを使った教育活動を高く評価していただきました。

課題となっていた読書と規範意識の醸成は、少しずつ向上していることがわかりました。「身の回りを整頓する」「誰かのために働く」などの勤労・奉仕や、「努力」することについては今後の生き方にかかわってくると考えられるため、働くことの清々しさや、努力と成長を実感させつつ、励まし育てて参ります。

・本年度も命や人権の尊重、自己肯定感の醸成に力を入れて運営してきました。特に、いじめ対策監によるいじめ防止の啓発放送や児童会活動による人権教育活動、青少年赤十字モニター校の「気づき・考え・実行する」、学校生活の基盤として「自分磨き」を合言葉にし、「ゆたかのでたくましい鶉の子」を育ててきました。

・学力向上においては、漢字学習の継続により、こつこつと学習に取り組む習慣が身につけてきました。

・分かる・できる授業は、子どもたちの学びに向かう心を育むとともに、自己肯定感も育みます。今後も子どもたちのためになる授業づくりに力を入れ、分かる喜びと成長を目指して取り組んで参ります。授業が充実するためには、教職員が快活に勤務し、じっくり教材研究に取り組むことが欠かせないため、学校における働き方改革を進めながら、引き続き子どもに軸をおいた学校運営を行って参ります。

・規範意識や奉仕の精神は社会に出た時に役立つ資質です。よりよい姿を描き、よりよい選択ができるよう考え議論する道徳教育を重視するとともに、家庭や地域で実践する力が身につくよう指導して参ります。

・「誰かのためになった」「学んでよかった」という経験や、努力し獲得できた経験は、ゆたかにたくましく成長する糧になります。また、地域の「人、もの、こと」のよさに気付く体験から、地域を誇りに思うことのできる「生き方を探究する力」も求められています。次年度は、子供も、保護者も、地域の皆さんも、教職員も、みな「うざら大好き」と思える「明日も行きたくなる学校」となることを目指して、精一杯努めて参ります。

<子ども評価>

「あいさつ」「タブレットを使った学習」に子どもたちが自信をもっていることがわかりました。また、『ホームレスの人権』などの講演や、児童会による人権啓発活動などを通して、命を尊重し、心を大切にすることの理解が深まっていることもわかりました。

学習面では、漢字学習の継続により、努力による成長を実感していることがわかりました。課題となっていた読書や規範意識の醸成も少しずつ伸びていることがわかりました。常に、課題をもち、自らを高める努力をすること、互いを尊重し、共に高まり合う喜びなどを大切にし、よりよく生きる子を育てて参ります。